

# 大垣駅輸送体制の見直しについて 会社提案を受ける

11月6日、名古屋地本は会社から「大垣駅輸送体制の見直し」について提案を受けました。大垣駅での駅係員による出発合図及び指示、列車の状態注意を廃止することで、要員が△11になるというものです。組合からは安全を追求する立場で協議を行いました。

## 大垣駅輸送体制の見直しについて

### 1. 実施箇所及び実施概要

大垣駅において、駅係員による出発合図及び出発指示合図、列車の状態注意を廃止する。これに伴い案内担当を措置し、旅客案内を実施する。

### 2. 実施時期

平成27年2月

### 3. 要員増減

営業の案内担務(交代8形×1)を新設

輸送の列車扱い中縦、上り、下り、機動を廃止し

要員増減は△11

## 会社回答と主なやり取り

組合：今年の春の要員計画になかったのはなぜか。

会社：春の時点では成案に至らなかったためである。

組合：輸送体制の見直しの目的は何か。

会社：駅係員による列車扱いをなくしても安全上対応できると判断したからである。

組合：安全上対応できるとした根拠は何か。

会社：他の駅においても車掌、運転士の対応で十分だからである。貨物に対するものはハード面でカバーした。

組合：ではなぜ、大垣駅では今まで列車扱いを配置していたのか。

会社：米原からの乗換駅であり、他の駅にはない特殊性があった。

組合：それは何を指しているのか。

会社：大垣駅では上り下りの発着番線が固定できなかったからである。

組合：提案には要員削減を目的とした効率化があるのではないか。  
会社：効率化は求めるが、成案を得たからである。  
組合：現在、列車使いを扱う社員は何人いるのか。  
会社：個別の人数を明らかにする必要はない。  
組合：新設の案内担務はどこで案内するのか。  
会社：改札室の奥でモニターを見ながら対応する。  
組合：乗り換えがある駅での案内担務は他の駅でもいるのか。  
会社：一概に言えないが、たとえば豊橋駅にはいる。  
組合：ホーム要員を減らすということは安全が不担保になる。組合は他の駅でもホーム要員を置くことで安全を高めていくことにつながると強く主張する。  
会社：安全に至る判断に成案を得たからである。  
組合：駅に同時の入線があると安全がカバーできないと思うがどうか。  
会社：ないと考える。  
組合：実施時期が2月となっていて日にちが決まっていないがどうなっているのか。  
会社：実施日が決まり次第連絡する。  
組合：通常このような変更はダイ改に合わせて行っているが、周知は大丈夫なのか。  
会社：車掌に対する周知期間は設ける。  
組合：発車アラームの設置、列車の車検はどうするのか。  
会社：発車アラームは増設する。車検はCMCに委託する。  
組合：△11の社員の異動はどうなるのか。本人希望を勘案すること。  
会社：この場で伝えることはしない。  
組合：大垣駅はホームも階段も改札も狭い。転落の危険性のある駅である。特に朝夕のラッシュ時には安全対策を講じること。また問題があれば申し入れを行う。

以 上